



YOKOSUKA NEWS RELEASE

平成 29 年 (2017 年) 6 月 16 日

報 道 機 関 様

横須賀市環境政策部長
横須賀市経済部長

～国立大学法人東京海洋大学との共同実験～ 電気自動車 (EV) からの給電によるエレベーター動力利用の実証実験に成功!

本市では、国立大学法人東京海洋大学に協力し、「電気自動車 (EV) からの給電で建物のエレベーターが動かせるか?」について、久里浜行政センターにおいて、本市が日産自動車(株)から借り受けている電気自動車 (EV e-NV200) と行政センターに設置している電力制御装置 (PCS) を利用した実証実験を共同で実施しました。

電気自動車 (EV) からの給電は、事務室への照明・事務機器などの電灯電源として利用することができますが、さらに、エレベーターの動力電源としての利用の可能性を検証するための実験です。

実験結果は、エレベーターを問題なく動かすことができたことから、動力電源として利用可能であることが確認され、実証実験は「成功」しました。これにより、災害など非常時のエレベーター停止時に、電力電源として電気自動車 (EV) を利用する実用化へ向けた第一歩となりました。

今回得られたデータやノウハウに基づき、今後、実用化に向けた研究・検討が進められることになり、本市としても、電気自動車 (EV) の様々な可能性に注目していることから、非常時や電力需要が高まる夏季の節電対策などでの活用も含め、引き続き、協力していきたいと考えています。

1 実施日時・場所

平成 29 年 6 月 10 日 (土) 14:00～16:00 久里浜行政センター

2 実施主体

国立大学法人東京海洋大学 (三井住友建設(株)との共同研究)

3 実験内容

エレベーター内に重り 400 kg を置き、20 kg ずつ軽くしていき 3 階まで往復させ、電気自動車 (EV) からの給電量やエレベーターへの電力負荷等のデータを取得

4 実験結果

電気自動車 (EV) からの少ない給電量でエレベーターは問題なく稼働

5 その他

国立大学法人東京海洋大学では、エネルギー構想の社会実装として、電力の見える化とスマートコミュニティ構築、及び非常時の電源供給の開発を三井住友建設(株)と共同研究していて、本市はその研究に協力しています。

なお、三井住友建設(株)では、当該案件について本日ニュースリリースを予定しています。



エレベーター内の重り



給電中の電気自動車 (EV)

(事務担当は、環境政策部環境企画課 青木、太田 内線 2394 直通 046-822-8524)
(事務担当は、経済部企業誘致・工業振興課 小林 内線 2422 直通 046-822-8290)